



子ども発達センターたっく

住所：〒432-8006

浜松市中央区大久保町 5388-1

TEL：053-485-6122

FAX：053-485-6115

在園児 143 名（1月15日現在）

◆児童発達支援 32 名

◆放課後等デイサービス 59 名

◆親子教室たっく 52 名

No. 144

たっくだより

冬号 2026.1.15



新年、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。新年がスタートし寒い日が続きますが、こどもたちが元気に登園してくれることを心より嬉しく思います。

今年もさまざまな行事や遊びを通して一日一日を楽しく過ごしていけるよう、こどもたちを見守っていきますのでどうぞよろしくお願い致します。

施設長 西尾 崇嗣

～ 地域交流 ～

12月7日（日）大久保町自治会の防災訓練にたっくの職員2名で参加しました。今回は、起震車で震度別の地震を体感したり、消防車での放水訓練や消防服を着る体験をしたり、非常食の炊き出し訓練も行いました。

起震車では震度7の地震を体験しました。ポールにつかまっていたましたが、それでも倒れてしまいそうな激しい揺れで、思っていた以上に怖かったです。起震車は静岡県に3台（西部・中部・東部）しかなく、貴重な体験をさせていただきました。今回の訓練は、地域の方と一緒に「もしもの時」を考えて行動したり、協力して炊き出しすることができ、防災の意識を再確認する良い機会となりました。



児童発達支援 10月～12月の様子

～バーベキュー体験～

11月12日(水)に、(株)春野コーポレーションの方がバーベキューの食育体験を行なってくれました。春野コーポレーションさんのブランド肉「はるのポーク」を、こども達の前で焼いてくださり、美味しそうなお肉にこども達は大喜び。焼いた豚肉やウィンナーはとても香ばしくて、おかわりしたい子が多くいました。シェフに「おかわりください」と伝えて美味しくいただきました。

食後に、お肉の説明や、動画を使って部位についての話があり、こども達は注目して見ていました。『豚って何歳まで生きるのですか?』と、質問して、豚さんについて知る場となりました。

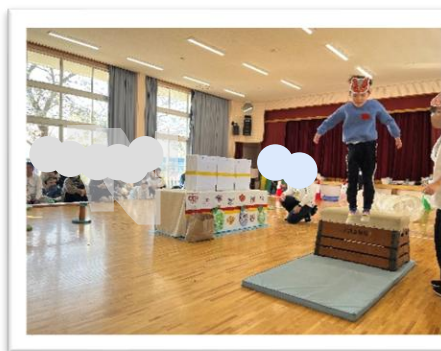
春野コーポレーションの皆様、こども達に貴重な体験をさせてくださりありがとうございました。



～オータムフェスティバル～

11月15日(土)、志都呂幼稚園ホールでオータムフェスティバルを行い、こどもたち19名とご家族の皆様が参加してくれました。当日は、サーキットや親子競技、リトミック活動の披露、ひっくり返しゲームを行い、普段の療育の様子を見てもらえる良い機会になりました。

ひっくり返しゲームでは、りんごチームとバナナチームの2つのチームに分かれ、ご家族の皆様にも参加していただきました。みんなで声を揃えてカードの枚数を数えてとても盛り上がりました。こどもたち、家族、職員と一緒に協力して「やった!」「できた!」という気持ちを共有することができました。ご家族の皆様、お忙しい中ご参加をありがとうございました。



～クリスマス会～

12月24日(水)、工房ゆうさんと一緒にクリスマス会を行いました。クリスマス会では、ゆうさんが作ってくれたマラカスやタンバリン、エッグシェイカーの中から好きな楽器を選びました。サンタのシールがついているマラカスが大人気で、クリスマスソングに合わせて歌を歌ったり、身体を揺らしたり、楽器を鳴らしました。

大きな袋を持ったサンタさんが登場すると、「サンタさんだ!」「何を持っているのだろう?」と、興味深々な様子。サンタさんとハイタッチをしてお菓子のプレゼントをもらい、みんな大喜びでした。サンタさんへの質問コーナーでは、「サンタさんは、何歳ですか?」「好きなケーキはなんですか?」と手を挙げて質問する姿がみられました。楽しいクリスマスの思い出になりました。





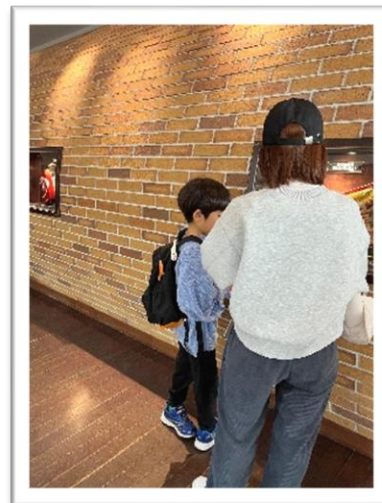
放課後等デイサービス 10月～12月の様子

～ 親子でうなぎパイ工場へ ～

12月の土曜日プログラムで、親子でうなぎパイ工場に行きました。往復4キロの道のりを家族で声をかけ合いながら歩きました！

出発前に交通ルールを確認しました。横断歩道では左右を見て走らずに渡ることや、信号が青でも左右を見て渡ることを〇×クイズで確認しました。

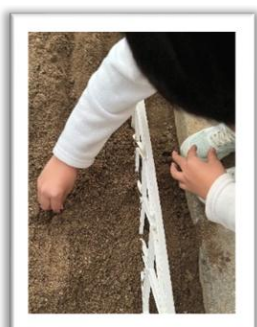
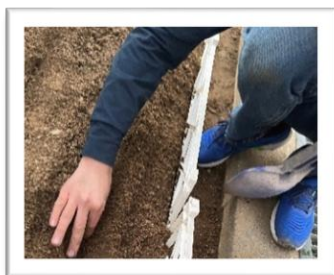
うなぎパイ工場では、クイズに挑戦しました。工場の中でうなぎパイができる仕組みを家族で見てもわりました。クイズがあることで子どもたちと保護者の方が協力してクイズを解いていました。帰りは疲れも見られましたが最後まで全員歩き切ることができました。また、平日のプログラムの中にも“歩く”活動を取り入れ体力向上を図っていきます。



～ 種まき ～

11月の終わり頃に、かぶとほうれん草の種を植えました。水色や赤色の種を見て、子どもたちは、「えー！」「すごい！」と、想像していた色と違うことにびっくりしていました。種のまき方を伝えると、子どもたちは、一生懸命まき方を真似していました。

高学年の子達は種を渡す係を率先してやってくれました。低学年の子ども達は「まだやりたい！」と、何度も種をまいてくれました。外あそびの時間に水やりをして成長をみんなで見守っていきます。



～カップケーキ作り～

冬休みの食育体験で、カップケーキ作りを行ないました。材料を量る場面では紙に書かれた分量を見ながら量ることができました。子どもたちは各自、ホイップクリーム・カラースプレー・クッキーの中から好きなトッピングを選び、自由に飾り付けをしました。完成したカップケーキを職員や友達に披露し、こだわった所やがんばった所などを教えてくれました。また、家庭でもご家族で作成してみてください♪

今後も春休みや長期休みに、食育を行なっていきます。





保育所等訪問支援

新年が明け、3 学期が始まりました。登校日数は少ない学期ですが、短いながらも 1 年間のまとめや新しい学年への準備など充実した毎日になることと思います。

例年、この時期の訪問では保護者の方から進級・進学に向けての不安の声が聞かれます。そういった悩み事についてもお気軽にご相談ください。この 1 年で成長・変化をしたお子さんの姿を一緒に見つめ直し、お子さんに適した関わり方やサポート体制づくりを考えていきましょう。

寒い日が続いています。お子さんも保護者の方も生活リズムと体調を整え、元気に新しい 1 年をスタートさせましょう。訪問の希望については職員までお声がけください。



食育活動について

食育は、9 月はお月見団子、10 月はきのこカレー、11 月は春野コーポレーションさんのバーベキュー・おにぎり作りをしました。

お団子を丸めたり、きのこをほぐしたり、道具を使わない『手を使う作業』を中心に行いました。普段の粘土あそびや紙をちぎる遊びが生き、手つきの良い子が多かったです。食材の固さや柔らかさによって力加減が難しいこともありますが、お家でもぜひいろいろなものを一緒に触ってみてください。





今回のお悩みは…

こどもがゲームに夢中でやめられない！！ どうしたらいい？

そんなお悩みにお答えします☆

★理由はなんだろう？

- ・ゲームは達成感と報酬が得やすい設計になっています。
- ・ゲームが楽しい！ おもしろい！→ストレス発散になる



★ポイントを紹介します！

1.こどもの気持ちを理解し、共感する

- ・頭ごなしに叱るのではなく、ゲームのどんなところが面白いのか、どんな気持ちで遊んでいるのかを子どもに聞いてみましょう。
- ・共感することで、こどもの気持ちに寄り添いやすくなります。

2.ルールを話し合って決める+環境を整える→利用制限機能を活用する

- ・親子で一緒に、ゲームをする時間や頻度についてルールを決めましょう。
- ・ゲームの種類によって適切なプレイ時間が異なる場合もあるため、事前に親も理解を深めておく、守りやすい約束ができます。
- ・スマートフォンの利用時間制限機能などを活用して、親がゲーム時間を管理する手助けをすることもできます。

3.家族のコミュニケーションや他の活動を増やす

- ・ゲーム以外の趣味や、一緒に楽しめる活動（運動、読書、おしゃべりなど）を見つけましょう。
- ・家族で一緒に過ごす時間（食事、外出など）を増やし、ゲームに頼る以外の楽しみを増やします。

◎それでも改善しない場合は専門機関に相談しましょう◎

- ・家庭での取り組みだけでは改善が見られない場合や、ゲーム以外の活動への興味が全く持てない場合は、迷わず専門機関に相談しましょう。
- ・学校のスクールカウンセラーや自治体の相談窓口、医療機関などが相談先となります。

お子さんの気持ちに寄り添いながら繰り返し実践してみてください。気になることや困ったことがあればいつでも職員に声をかけてください。